

# 自立活動学習指導案

学級：特別支援学級  
対象：2年1人 3年3人 計4人  
場所：特別支援学級教室  
指導者：教諭 川尻 友美

## 1 活動名 「私とあなたの良いところ」

## 2 活動について

### (1) 活動設定の理由

#### 〈生徒の実態〉

本グループは、2年生1人、3年生3人の計4人で構成されている。自立活動の時間をグループとして活動することは少ないが、それぞれが個々に自立活動の学習に取り組んでいる。これまでも、自分自身についてのマインドマップを作成したり、自分の外見や内面について学習したりしてきた。

本グループは、「自己を多面的に理解する。」「卒業後の進路を見据えて、必要なサポートを求めることができる。」といった目標を基に構成された異学年の集団である。交流学級では、特定の友達と関わりをもち、楽しそうに過ごす姿が見られるものの、その関わりの中で「相手の気持ちに応じて、それにふさわしい対応が苦手な自分」に気が付きながら、状況に応じた対応を見出せずに過ごしたり、自信を失い、自己肯定感の低いままに学校生活を送ったりしている。また、卒業後の進路について、目標を挙げることはできるが、卒業後の生活で必要になると考えられる「本人にとって必要なサポートを求めること」については、イメージをもつことが難しく、中学校生活で起こるそれぞれの状況にどのように対応すればよいか分からずに、行動に移すことが難しくなることがある。その原因として、思春期という不安定な時期であることや成功体験が少なく、自分に自信がもてなかったり、自分を客観的に見ることが苦手で、自分の良さに気が付きにくかったりする。また、卒業後の生活を具体的にイメージできず、自分からサポートを求めることにためらいを感じていることなどが考えられる。

#### 〈活動の意義・価値〉

このような生徒たちの実態を踏まえて、本活動では、「人間関係の形成」と「コミュニケーション」に焦点を当て、個々の課題を解決できるペア活動に取り組むこととした。ペア活動は、意図的に自己を見つめ直す活動とともに、友達から自分の良さを伝えてもらうことで、自分では気付かなかった自分の一面を知り、自己理解を深めることができるものである。また、友達の良さを見付けることで、他者を認めることの経験を積むことができたり、相手の気持ちを考え、それにふさわしい表現を伝える体験をしたりすることもできる。さらに、これらの活動を通して、自分も友達も認める良さを自分の長所として自信をもつことができ、自尊感情を高めることができる。また、交流学級では自信のなさから消極的になりがちな生徒にとって、自己効力感を育むことができる。

#### 〈ねらい〉

そこで、本活動では、自分自身を見つめ直して、自分らしさを発見したり、他の生徒から自分の良さを伝えてもらうことを通して、自分自身の新たな良さに気付かせたりすることができるようにする。また、生徒同士で確認したり、話し合いをしたりして、互いを認め合い、相手の気持ちに応じた対応の機会や場を設定し、他者理解を深め、コミュニケーション能力を育てたい。

#### 〈指導観〉

まずは、親や教師、友達に褒められたことや自分に自信がもてた経験、自分で良かったと思えた出来事などを具体的に思い出させ、ワークシート「私の良いところ 発見シート」に記入することで、自分の良さに気付くことができるようにする。次に、自分の良さは自分一人では気付きにくいところがあるため、他の人から自分の良いところを伝えてもらうのも自己発見の一つの方法であることを知らせ、ワークシート「あなたの良い

ところ「発見シート」に記入し、友達に渡す活動をすることで、客観的に自分を捉える機会とする。さらに、それぞれのシートで出てきた言葉を、「まとめシート」に記入することで、自分自身についてしっかりと見つめ直し、自分も友達も選んだ言葉は、自分の長所として自信をもつことができるようにする。活動の様子は、連絡帳等で家庭に伝え、今後の進路について前向きに考える手立てを共通理解することができるようにしたい。

〈展望〉

これらの学習を通して、生徒たちは自分自身の良さに気付くことができ、自信や意欲をもって活動することができるようになる。また、友達からの意見を参考に、自分自身を客観的に捉える経験を積むことができ、自分自身を多面的に知ることができる。さらに、コミュニケーション能力を向上させ、積極的・協動的に人と関わろうとする意欲や態度にもつながっていくものとする。

(2) 生徒の実態

生徒 観点	実態や課題		
	心理的な安定	人間関係の形成	コミュニケーション
A	情緒は安定しているが、周りを見て行動することが多く、遠慮しがちである。	常に笑顔で明るく接することができるが、嫌なことがあっても表現できずに、我慢することが多い。	自分から積極的に関わることは少ないが、質問されたことに対しては答えることができる。
B	日によって機嫌が左右されやすく、情緒が不安定なことがある。自分自身で反省することも多い。	特定の人とは関わるができるが、慣れるまでに時間が掛かる。	人前に出ることが苦手で、特定の人といることが多い。慣れた人とは、積極的に関わるができる。
C	日常的に情緒は安定しているが、思い通りにならないときには、不安定になることがある。また、自分自身を過大評価することがある。	特定の人との関わりが好きである。 他者の気持ちの理解が苦手である。また、人によっては、反抗的な態度をとることがある。	意思表示をすることはできるが、一方的なことが多い。 相手のことを考えずに思い付いたことを全て言葉にするため、周りが傷付くことがある。
D	情緒は安定しているが、必要以上に他人の目を気にすることがある。自分自身を過小評価しがちである。	特定の人との関わりが好きである。 他者の気持ちの理解が苦手である。	意思表示をすることはできるが、一方的で、自分のペースで話し続ける。

3 活動目標

(1) 全体目標

- 自分の良さに気付き、他者との関わりを通して、自分自身の多面性に気付くことができる。 【人間関係の形成】
- 卒業後の生活を具体的にイメージすることで、必要なサポートを求めることを意識し、自分からサポートを求めることができる。 【コミュニケーション】

(2) 個人目標

生徒	個人目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の良さに気付くことができる。</li> <li>・困ったことを相手に伝えることができる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の良さを受入れることができる。</li> <li>・自分の気持ちを素直に表現できる。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的に自己理解ができる。</li> <li>・感情のコントロールをして、適切な言葉で表現することができる。</li> </ul>

D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の良さを受入れることができる。</li> <li>・他者の気持ちに気付き、それに応じた対応をすることができる。</li> </ul>
---	--

#### 4 指導計画（総時数 20 時間）

期	時数	学習活動・内容	準備等
I	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自立活動の学習について知る。</li> <li>・ 自立活動の学習の内容について知る。</li> <li>○ 自分の良さに気付く。</li> <li>・ 自分の外見・内面について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立活動の記録</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>
II	10 本時 (3/10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の多面性に気付く。</li> <li>・ 自分の得意なこと、苦手なことについて知る。</li> <li>○ 他者との関わりを通して自己理解を深める。</li> <li>・ 他者から見た自分の良さに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立活動の記録</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>
III	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 必要なサポートを求めることについて考える。</li> <li>・ 卒業後の生活についてイメージする。</li> <li>・ 困っていることを適切に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立活動の記録</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>

#### 5 本時の実際（Ⅱ期：3/10）

##### (1) 全体目標

- 自分自身を見つめ直して、自分の良さを発見したり、友達から伝えてもらった自分の良さに気付いたりすることができる。
- 相手の気持ちを考えながら、それに応じた言葉で表現し、友達の良さを伝えることができる。

##### (2) 個人目標

生徒	個人目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身で自分の良さに気付くことができる。</li> <li>・ 友達から言われた良さを受け入れ、自分の良さとして発表することができる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身で自分の良さに気付き、認めることができる。</li> <li>・ 友達とそれぞれの良さを伝え合うことができる。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達から伝えられた自分の良さに気付くことができる。</li> <li>・ 友達の良さを伝えるとき、適切な言葉で表現することができる。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身で自分の良さに気付き、認めることができる。</li> <li>・ 友達の良さに気付き、相手の気持ちを考えた言葉で伝えることができる。</li> </ul>

##### (3) 指導及び支援に当たって

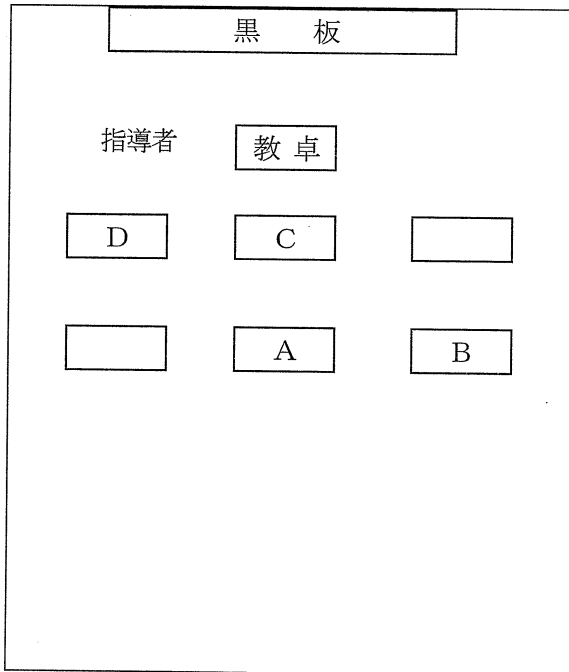
生徒たちはこれまで、自分自身についてのマインドマップを作成したり、自分の外見や内面について学習したりしてきている。また、現在の自分の様々な面や過去の出来事、将来の夢などについて考え、幅広い視点から自己を捉える学習もしており、徐々に自己理解が深まっている。しかし、自分自身の良さとして、自分の長所を自信をもって答えるところまでには至っていない。

そこで本時では、私の良いところや友達の良いところをワークシートへ記入しながら、自分自身を見つめ直し、自分自身で自分の良さに気付くとともに、友達から伝えられた自分の良さを新たな自分の良さとして気付き、受け入れることができるようにする。また、それらを「私の良いところまとめシート」にまとめることによって、自分も友達も選んだ言葉は、自分も友達も気付いた自分の長所として認めることができるようにする。そして、友達との話し合いを通して、自分自身を客観的に捉え、自分の多面性に気付くことができるようにする。さらに、友達との関わりから、互いの良さを適切な言葉で伝え、それを受け入れるなど、コミュニケーション能力の向上を図る。

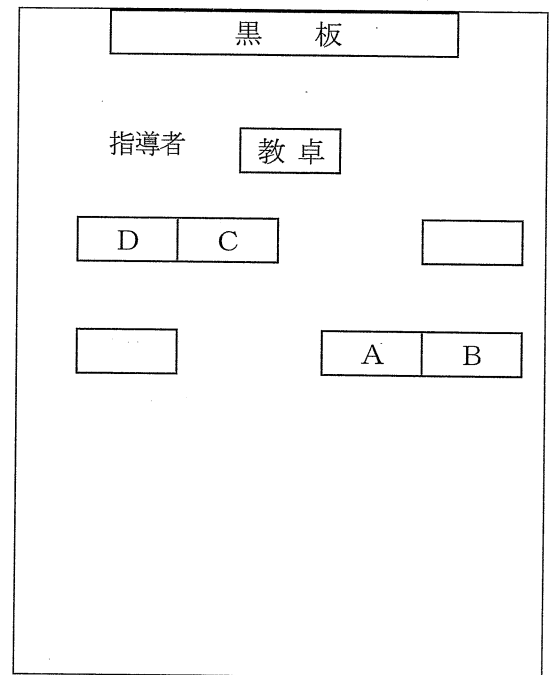
(4) 実際

過程	時間	学 習 活 動	指導上の留意点	備 考
導入	10分	1 始まりの挨拶をする。 2 本時の学習内容を知る。 (1) 目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">私と友達の良いところを見付けよう。</div> (2) 学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日直の号令で姿勢を正して大きな声で挨拶ができるようにする。</li> <li>・ 前時の学習を振り返ったり、本時の学習目標を確認したりして、期待感を高める。</li> <li>・ 自分の良いところを考えたり、褒められたことを思い出したりしながら、記入していくことを伝える。</li> <li>・ 友達から自分の良いところを伝えてもらうことも、自己発見の方法であることを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒板</li> </ul>
展開	30分	3 ペアで課題に取り組む。 (1) ペアになり、各自の良いところを記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (A, B)</li> <li>・ (C, D)</li> </ul> (2) ペアになっている友達の良いところを記入する。 (3) ペア同士でお互いが書いたシートを交換する。  4 これまでの活動を整理する。 (1) まとめシートに記入をする。  (2) 「自分も友達も選んだ良いところ」を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師の指示により、自分の相手を確認できるようにする。</li> <li>・ ワークシートを見ながら、取り組む内容について確認する。</li> <li>・ 作る文は6つ全て書かなくてもよいことを事前に伝える。</li> <li>・ 実態に応じて、「人柄を表すことば50」を活用する。</li> <li>・ 友達へ伝えて良い言葉かどうかを、チェックボードを使って判断することができるようにする。</li> <li>・ 友達から見た自分の良さは、自分自身では気付かない良さであることを伝える。</li> <li>・ 「私の良いところ」と「あなたの良いところ」の両方に書いてあった同じ意味の言葉を「自分も友達も選んだ良いところ」に記入する。</li> <li>・ その他の欄もそれに近い言葉を選び、それぞれの箇所を書くように説明する。</li> <li>・ 「自分も友達も選んだ良いところ」は、自分の長所であることを説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 「人柄を表すことば50」</li> <li>・ チェックボード</li> </ul>
終末	10分	5 本時のまとめをする。 (1) ワークシートで自分の良さの確認をする。 (2) 自立活動の記録を書く。 (3) 教師によるまとめを聞く。  6 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめシートで自己理解を深める。</li> <li>・ 自立活動の記録に記入し、本時の振り返りをする。</li> <li>・ 次時の内容を確認し、さらに自分自身の良さに気付けるようにする。</li> <li>・ 日直の号令で姿勢を正して大きな声で挨拶ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立活動の記録</li> </ul>

(5) 場の設定



導入・終末：特別支援学級（ひまわり）



展開：特別支援学級（ひまわり）

(6) 評価

ア 全体目標

- 自分自身を見つめ直して、自分の良さを発見したり、友達から伝えてもらった自分の良さに気付いたりすることができたか。
- 相手の気持ちを考えながら、それに応じた言葉で表現し、友達の良さを伝えることができたか。

イ 個人目標

生徒	個人目標	評価	教師の手立て	評価
A	自分自身で自分の良さに気付くことができたか。		本人に考えさせる言葉掛けができたか。	
	友達から言われた良さを受け入れ、自分の良さとして発表することができたか。		発表の前に、良さを確認できたか。	
B	自分自身で自分の良さに気付き、認めることができたか。		「人柄を表す言葉 50」をタイミングよく提示できたか。	
	友達とそれぞれの良さを伝え合うことができたか。		生徒の気持ちに寄り添った言葉掛けができたか。	
C	友達から伝えられた自分の良さに気付くことができたか。		友達の考える良さを適切に伝え、理解させたか。	
	友達の良さを伝えるとき、適切な言葉で表現することができたか。		丁寧な伝え方のモデルを示すことができたか。	
D	自分自身で自分の良さに気付き、認めることができたか。		自分の良さを安心して記入できるような雰囲気作りができたか。	
	友達の良さに気付き、相手の気持ちを考えた言葉で伝えることができたか。		適切な伝え方のアドバイスができたか。	

[ 評価基準：◎…達成できた ○…一部達成できた △…達成できなかった ]